

第14期決算公告

平成29年6月29日  
 愛知県名古屋市中区錦一丁目11番20号  
 株式会社 CLINICAL STUDY SUPPORT  
 代表取締役 磯村 達也

貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>127,802</b>	<b>流動負債</b>	<b>29,499</b>
現金及び預金	52,871	短期借入金	7,326
受取手形	11,395	未払金	1,258
売掛金	48,570	未払費用	13,739
たな卸資産	14,387	未払法人税等	669
前払費用	509	未払消費税等	6,127
立替金	68	預り金	378
<b>固定資産</b>	<b>7,877</b>	<b>固定負債</b>	<b>25,691</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>2,273</b>	長期借入金	17,696
建物	2,141	長期前受金	7,995
器具及び備品	131		
<b>無形固定資産</b>	<b>1,705</b>	<b>負債合計</b>	<b>55,190</b>
ソフトウェア	1,705		
<b>投資その他の資産</b>	<b>3,898</b>	<b>純資産の部</b>	
敷金	3,898	<b>株主資本</b>	<b>80,489</b>
		資本金	53,400
		利益剰余金	27,089
		その他利益剰余金	27,089
		繰越利益剰余金	27,089
		<b>純資産合計</b>	<b>80,489</b>
<b>資産合計</b>	<b>135,680</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>135,680</b>

重要な会計方針

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

(1)仕掛品

個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

(2)貯蔵品

最終仕入原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法によっております。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)、並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。

なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

3. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

当期純損益金額

当期純利益

4,814千円